

農林水産商工常任委員会資料

(令和8年7月21日)

項 目	ページ
■ 鳥獣による農作物の被害状況等について 【鳥獣対策課、食パラダイス推進課】	2
■ 令和5年台風第7号災害からの復旧について（農地・農業用施設） 【農地・水保全課】	3
■ 令和8年上半期の境港水産物地方卸売市場水揚状況等について 【境港水産事務所】	4
■ 鳥取県産品の情報発信に係る取組について 【販路拡大・輸出促進課】	5
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】	6

農 林 水 産 部

鳥獣による農作物の被害状況等について

令和8年7月21日
鳥 獣 対 策 課
食パラダイス推進課

令和7年度の農作物等の鳥獣被害発生状況、捕獲状況等について報告します。

1 令和7年度の鳥獣被害状況

- (1) 野生鳥獣による農作物等への被害額は、令和6年度の81百万円に比べて38百万円減少し、43百万円であった。うちイノシシによる被害が全体の約6割を占める。
- (2) 昨年度は堅果（どんぐり）類が豊作だったなど、山野の餌が豊富だったと考えられ、野生動物の農地への侵入が減少したため農作物被害は低く抑えられたと考えられる。
- (3) シカの被害はほぼ横ばいだが、中西部でも被害が発生している。

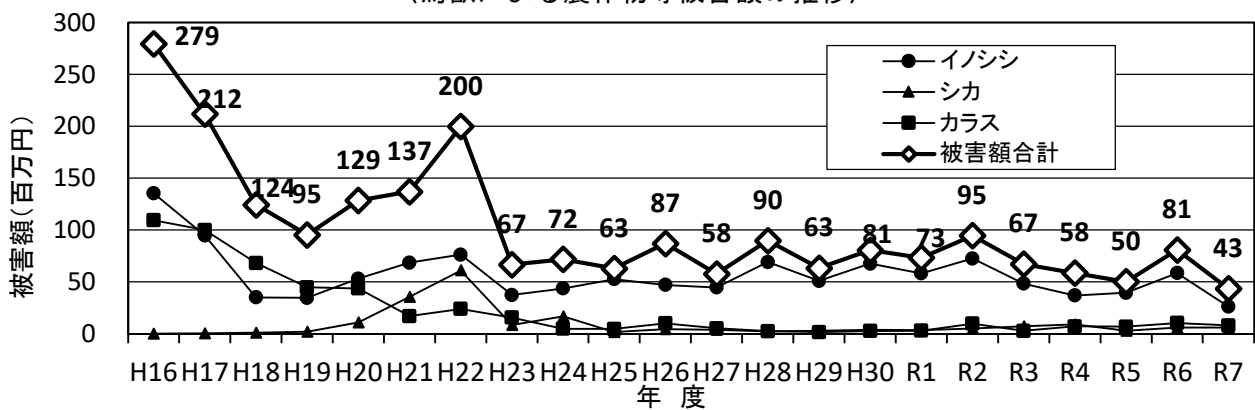
〈令和7年度の鳥獣別被害額〉

(単位：千円)

加害鳥獣	イノシシ	シカ	クマ	カラス	その他	合計
被害額	26,241(58,541)	5,939(5,938)	804(574)	8,056(10,508)	2,448(5,392)	43,488(80,953)

注) カッコ内は令和6年度

〈鳥獣による農作物等被害額の推移〉



2 イノシシ、シカの捕獲数の推移と利用状況

- (1) 令和7年度の捕獲数は、イノシシが3,493頭（対前年度比37%）と大きく減少、シカは14,337頭（対前年度比103%）で初めて目標捕獲頭数（14,000頭）を達成した。

〈イノシシ・シカ捕獲状況〉

(単位：頭)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
イノシシ	8,341	8,371	11,970	5,583	11,027	12,985	12,113	9,968	7,400	9,835	9,531	3,493
シカ	6,468	6,097	7,274	6,707	7,519	9,086	10,294	12,255	11,829	12,796	13,864	14,337

(鳥獣対策課集計)

- (2) イノシシ・シカのジビエ等の利用頭数は3,527頭、利用率はイノシシ14.8%、シカ21.0%、合計19.8%となった。

- ・イノシシ：豚熱発生等により捕獲及び解体頭数は減少しているが、「【鳥取県版】豚熱感染確認区域における野生イノシシジビエ利用マニュアル」によるジビエ活用が進んだ結果、利用率が令和5年の豚熱発生前水準に復活している。
(参考) 令和5年度イノシシ利用率：10.0%
- ・シカ：解体頭数が減少し利用率が低下したが、令和6年度全国平均のシカ利用率17.3%と比較して高い水準を維持している。
(参考) 令和6年度全国平均利用率：イノシシ6.3%、シカ17.3%、合計12.1%

〈令和7年度イノシシ・シカのジビエ等利用状況〉

区分	捕獲頭数(頭)	解体処理頭数(頭)	利用率(%)
イノシシ	3,493(9,531)	518(770)	14.8(8.1)
シカ	14,337(13,864)	3,009(3,250)	21.0(23.4)
計	17,830(23,395)	3,527(4,020)	19.8(17.2)

注) カッコ内は令和6年度利用率＝解体処理頭数／捕獲頭数（食パラダイス推進課集計）

令和5年台風第7号災害からの復旧について（農地・農業用施設）

令和8年7月21日
農地・水保全課

甚大な被害が発生した令和5年台風第7号災害から概ね3年が経過することから、農地・農業用施設災害の復旧状況を取りまとめましたので報告します。

1 災害復旧進捗状況

令和5年8月15日から16日にかけて鳥取県を通過し、主に鳥取市、八頭町及び三朝町に甚大な被害をもたらした台風第7号の災害復旧工事の完成率は令和8年6月末現在で95.5%（箇所数ベース）であり、現在工事中のものについては令和9年3月末までに全て完成の見込みです。

<令和8年6月末時点>

（単位：件、千円）

市町村	鳥取市	倉吉市	八頭町	三朝町	琴浦町	他4町等	計
発注件数	147	23	49	93	4	16	332
発注額	1,005,329	171,846	592,259	439,406	14,866	39,624	2,263,330
完成件数	133	23	48	93	4	16	317
執行額	851,640	171,846	558,619	439,406	14,866	39,624	2,076,001

（参考）台風第7号を含む令和5年災の査定決定額（農地及び施設）について鳥取県は全国第7位（2,393百万円）

2 未完成箇所の状況

令和8年6月末現在で未完成のうち主な箇所については以下のとおりです。

【農地】

- ・鳥取市佐治町余戸（7月完成予定）



【施設】

- ・八頭町麻生（令和9年3月完成予定）



3 復旧後の状況

復旧が完了した箇所については順次営農が再開されています。

- ・八頭町別府



令和8年上半期の境港水産物地方卸売市場水揚状況等について

令和8年7月21日
水産振興課
境港水産事務所

県営境港水産物地方卸売市場の令和8年上半期（1～6月）の水揚状況がまとまりましたので報告します。

1 今年の上半期の水揚状況

市場全体の水揚量は昨年比で110%と増加した。また、水揚金額は昨年比で152%と大幅に増加した。

特に、まき網漁業によるマイワシとさば類が高単価で推移し、全体の水揚金額を押し上げている。

今年の大漁日（1000t以上の水揚げ日）は42回となり、過去最高だった平成25年の年間の回数（37回/年）を超えている。（※）

なお、7月3日には水揚金額が200億円を突破した（昨年は11月14日に到達）。

（※）平成14年10月から大漁旗掲揚基準を1,000t以上に定めてからの大漁日数

境漁港における水揚状況の昨年との比較（1～6月の水揚げ状況（水揚量、水揚金額、単価））

	令和8年			令和7年		
	水揚量	水揚金額	単価	水揚量	水揚金額	単価
市場全体	10.2万トン	198億円	194円/kg	9.3万トン	130億円	140円/kg
まき網漁業	9.3万トン	148億円	158円/kg	8.4万トン	77億円	92円/kg
うちマイワシ	5.6万トン	57億円	102円/kg	4.8万トン	21億円	45円/kg
うちさば類	3.1万トン	58億円	187円/kg	3.2万トン	30億円	96円/kg
ベニズワイガニ漁業	3,369トン	17.3億円	515円/kg	3,282トン	16.4億円	501円/kg
沖合底びき網漁業※	1,715トン	13.7億円	799円/kg	1,996トン	15.7億円	785円/kg

※6～8月休漁

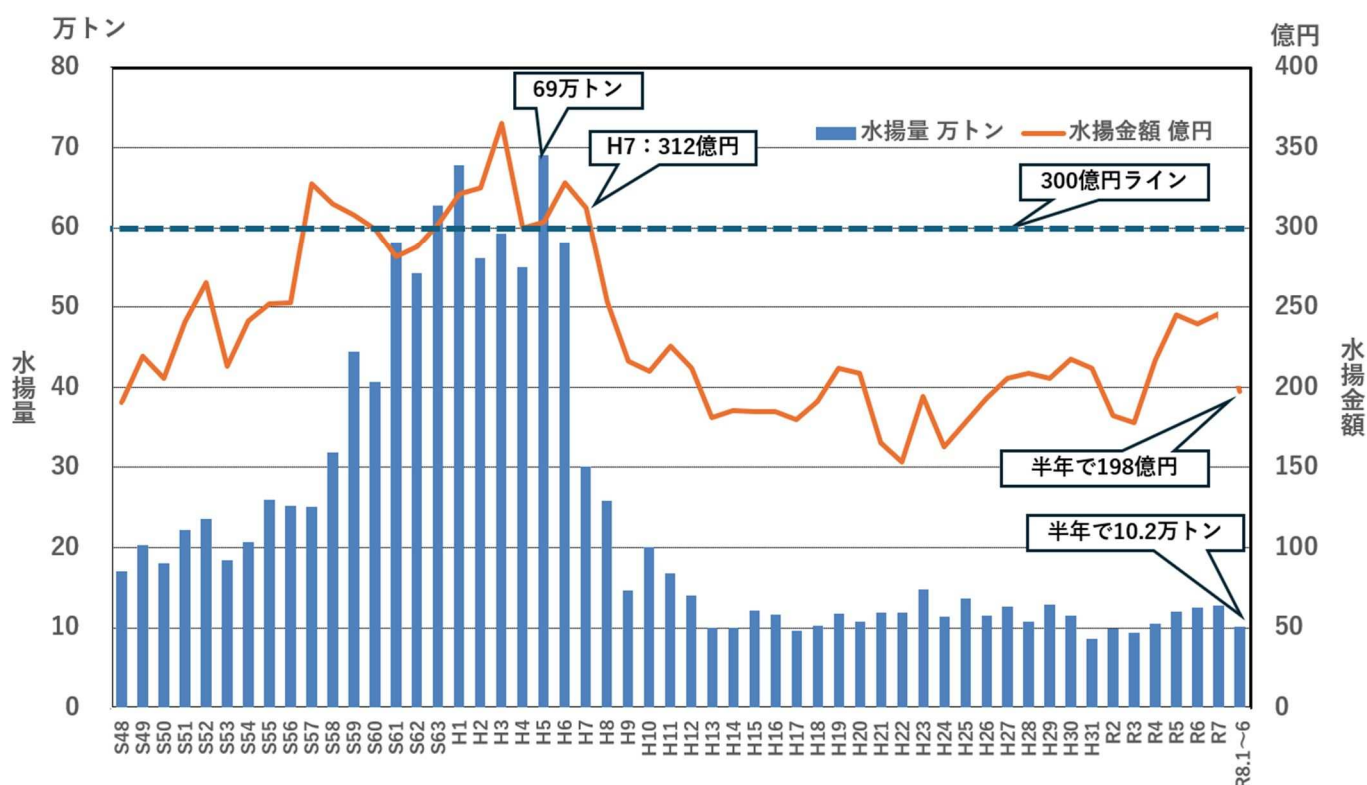
2 今後の見通し

今年の年間水揚金額は300億円をうかがう状況となっている。

※過去3年の下半期（7～12月）の水揚金額は令和5年109億円、令和6年94億円、令和7年116億円である。

※前回、300億円を超えたのは平成7年の312億円だった。なお、平成4～8年は水揚量全国1位だった。

【参考】過去の年間水揚げ状況



鳥取県産品の情報発信に係る取組について

令和8年7月21日
販路拡大・輸出促進課

鳥取県産品の知名度向上、ブランド化を図るため、次のとおり国内外において情報発信を行いましたので報告します。

1 国内での情報発信

(1) 八芳園での「食パラダイス鳥取県×食のみやこ熊本県フェア」トッププロモーション

〔期日・場所〕 令和8年6月3日（水） 八芳園「KIOTO（木音）」
〔出席者〕 平井知事、木村敬熊本県知事、山下雄平農林水産副大臣 ほか
〔内容〕 両県知事による県産食材の魅力PR、フェア提供メニューの紹介
※「食パラダイス鳥取県×食のみやこ熊本県フェア」
両県の特産である「すいか」「和牛」をはじめ、旬の食材を使用した特別御膳の提供（6/6～6/26、高輪ゲートウェイ「割烹 BUTAI」）



トッププロモーションの様子

(2) (株)ダイエーでの「山陰フェア」

〔期日〕 令和8年6月13日（土）～15日（月）
〔場所〕 (株)ダイエー 延83店舗
〔内容〕 クロマグロ、シジミ、鳥取すいかのPR販売、ブロッコリー、夏輝、大山乳業等販売、トリピー、しまねっこによる観光PR等
〔結果〕 「マグロがみずみずしくて美味しい」「シジミのだしが良く出ていて非常に美味しい」「懐かしい」等、反響があった。



山陰フェアの様子

(3) 東京駅での「鳥取すいかトップセールス」

〔期日・場所〕 令和8年7月2日（木） 東京駅地下「スクエア ゼロ」
〔出席者〕 平井知事、JA全農とっとり関係者、県アンテナショップ ほか
〔内容〕 知事トップセールス、カットすいか配布、鳥取すいかのPR販売、県産品の物産販売、観光PR など
〔結果〕 「初めて食べたが今まで食べたすいかの中で1番甘くておいしい」「鳥取に行きたくなった」「どこで買えるか」等、反響があった。



東京駅でのとっとりすいかPR

2 海外での情報発信

(1) 「Japan Expo パリ」でのフランス版鳥取牛骨ラーメンの提供

フランスで行われた日本文化の祭典「Japan Expo パリ」において、欧州市場での鳥取県産食品の情報発信とインバウンド需要の拡大を目的に、鳥取県名物「牛骨ラーメン」の試食提供を行った。
〔日時〕 令和8年7月10日（金）から12日（日）まで
〔場所〕 パリ・ノール・ヴィルパント見本市会場
〔内容〕 フランス在住の鳥取県出身シェフ牧田幸三氏によるフランス版牛骨ラーメンの試食提供（各日300食、全900食）
〔結果〕 当日はJapan Expo 公式インフルエンサーと連携したSNS情報発信等を行い、試食した方からは「初めて食べたが他のラーメンとは違う風味で美味しい」「牛骨ラーメンを食べに鳥取県に行きたい」等のコメントがあった。



ブースに並ぶ行列の様子



提供したフランス版牛骨ラーメン

(2) 香港でのPR

◆鳥取すいかの店頭PR販売

〔期間〕 令和8年7月3日（金）から9日（木）まで
〔場所〕 YATA（一田）百貨店及びスーパー 5店舗

◆鳥取すいかを用いた料理家によるクッキングデモ

〔日時〕 令和8年7月4日（土）
1回目：14:00～、2回目：16:00～ 各回60分
〔場所〕 YATA（一田）沙田店
〔内容〕 鳥取すいかの切り方の紹介や鳥取すいかを使用したメニューの調理実演を行った。



クッキングデモの様子

3 その他

とっとり・おかやま新橋館、関西圏及び中京圏の百貨店・量販店、首都圏のホテル、卸等において、県外本部と連携し、らっきょう、クロマグロ、鳥取すいか等の販売PRを行った。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和8年7月21日
農地・水保全課

【変更分】							変 更 理 由
主 務 課	工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日 (当初契約年月日)	
農地・水保全課 (東部農林事務所)	神谷奥堤地区ため池整備 工事	鳥取市 西今在家	株式会社 大谷組 代表取締役 大谷 廣秋	(当初契約額) 109,890,000円	令和7年9月8日 ～ 令和8年7月6日	令和7年9月8日	
農地・水保全課 (西部総合事務所農林局)	淀江地区ほ場整備(北-2 工区)工事	米子市 淀江町 淀江	株式会社特研工業 代表取締役 鋪倉 健	(第1回変更後契約額) 123,693,900円 (変更額) 13,803,900円 (当初契約額) 143,660,000円	令和7年9月8日 ～ 令和8年10月26日	(第1回変更契約年月日) 令和8年7月3日	・取水施設更新のため旧堤体掘削を行ったところ、軟弱層が一部で確認されたため、当該土層の地盤改良が必要となったことに伴う工事費の増額及び工期の延伸。
				(第1回変更後契約額) 186,699,700円 (変更額) 43,039,700円	令和7年3月27日 ～ 令和8年3月18日	(当初契約年月日) 令和7年3月26日	・ICT活用工事の必要経費の追加による工事費の増額。 ・ほ場基盤が軟弱なため、購入土による置き換えが必要となったことによる工事費の増額及び工期の延伸。
					令和7年3月27日 ～ 令和8年5月29日	(第1回変更契約年月日) 令和8年3月13日	・春先の長雨により表土が高含水化し、排水対策等処理に想定外の時間を要したことによる工期の延伸。
				(第3回変更後契約額) 190,914,900円 (変更額) 4,215,200円	令和7年3月27日 ～ 令和8年12月28日	(第3回変更契約年月日) 令和8年6月26日	・水路の埋戻は現場発生土を流用して行う計画であったが、軟弱で埋戻に適さない土質であったため、購入土に変更したことによる工事費の増額。 ・他工事の発生土を流用して農道の路体盛土材を行う計画であるが、他工事の遅延により農繁期までに流用土を受入れできず、収穫後に施工する必要が生じたことによる工期の延伸。